

二年学年だより

No. 1

4月号

令和6年4月8日

2年学年主任

2年生への進級おめでとうございます。高校生活への期待がある一方で、不安と緊張もたくさん抱えた入学式から1年が過ぎました。本校で二度目の春です。1年前と比べて、自分自身の成長を感じることはできますか？ たった1年間ですが、大きく生活力・学力に差がついていることに気が付いているでしょうか。これは、「できる・できない」の差ではなく、「やるか・やらないか」の差から生じたものです。

「やればできる」そう思い込んでいませんか？ 「やればできる」＝「やらないからできない」です。逆に「どうせやってもできない」と決めつけていませんか？ 自分からアクションを起こさず、大きな飛躍を経験できずに時間を過ごしてしまう人がたくさんいます。いつまでも自分ときちんと向き合えず、努力することでしか手に入れられない本当の充足感、満足感、深い自己受容、潜在能力の引き出し……といったものを経験できないのは、非常にもったいないことです。本校のモットーが「チャレンジ精神」であることを今一度考え、何事にも挑戦できる1年間であってほしいと思っています。

今やらないと後で大変なことになるよ

お前がいつの日か 出会う禍は、 お前がおろそかにした ある時間の報いだ。

- ナポレオン・ボナパルト

そとでPower Point

こんなことを言った覚えが... まるで脅し?! いや、これは 激励力!

第3学期終業式がありました。1年間はあっという間。時間を大切に！・・・ということで、高校1年生の初めての学年集会で伝えたのが、この名言。今考えると、もっと前向きな言葉が他にあるよね😊

私が最近始めた新たなチャレンジは、情報発信です。学年集会等でみなさんに話すときには、どうしても小言のようなものが増えてしまいます。昨年度のも、「休みすぎ・遅れすぎ」「家庭学習時間が短すぎる」など、できていないことを注意する内容が中心になってしまいました。でも、楽しいこと、うれしいこと、些細な出来事でも、伝えたいことは山ほどあるのです。そんな何気ない日常を、本校のホームページの『teacherの呟き』というコーナーで紹介させていただいています。

←こんな感じです。時間があるときに、ぜひチェックしてみてください。

「2年生は中だるみする」とよく言われます。1年生は初めての経験が多く、手探りの緊張感が続きます。3年生は言うまでもなく受験生であり、たるんでいる暇などありません。その一方で、2年生は適度に学校に慣れ、受験まで1年以上あります。「これぐらいでいいか」と思うことが増えてきたら、それが中だるみです。

しかし、私自身が中学2年生のとき、大好きだった数学の先生に、「2年生が中だるみだなんて、とんでもない！ 2年生は、あんパンで例えるとあん！ 肉まんなら肉！ 一番おいしい真ん中だ。中身をどれだけ増やせるかは君ら次第だ」と言われ、とても温かい気持ちになったのを覚えています。

来月には修学旅行があります。夏以降は、2年生が部活動の中心となるところがほとんどでしょう。部活動等で忙しい高校生が学習時間を確保するためには、工夫が必要です。また、いかにしてやる気を継続させるかというアイデアも必要です。きちんと自分を律することができる生徒が、やはり最後は希望進路を実現させることができるのです。2年生のうちに「言われたからやっている」から脱却し、考えて動けるようになってほしいものです。

大切なのは、自己管理能力。中身がグューグューに詰まった1年間にするために、まずは「休まず・遅れず」学校に来てください。